

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	平成29年2月8日(水) 19時00分 から 20時50分
開 催 場 所	所沢市保健センター 多目的ホール
出 席 者 の 氏 名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿」のとおり
欠 席 者 の 氏 名	
説明員の職・氏名	
議 題	(1) 保健医療計画の進行管理について (2) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第2回保健医療計画推進委員会の主な意見 ・ 資料2 計画の進行管理 ・ 資料3 保健医療計画取組状況評価シート(案) ・ 参考資料1 所沢市保健医療計画「今後の市の方向性」主な取組状況 ・ 参考資料2 「運動と健康」
担 当 部 課 名	<p>健康推進部 部長 平田 仁 次長 須田 浩美 健康づくり支援課長 淵江 弘行 保健医療課主査 田村 幸弘 保健医療課主任 高橋 淳</p> <p>事務局 健康推進部保健医療課 電話：04(2998)9385</p>

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	出欠	備 考
1	公募委員	渡辺 佳嗣	○	
2	公募委員	浜松 重喜	○	
3	公募委員	前園 志穂	○	
4	公募委員	荒木 祐美子	○	
5	所沢市医師会 会長	京谷 圭子	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 会長	田中 利幸	○	
7	所沢市薬剤師会 会長	斉藤 祐次	○	
8	所沢市柔道整復師会 会長	千葉 幸喜	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	片居木 茂行	○	
10	所沢市母子愛育会 会長	浦野 きよ子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	牛窪 日出子	○	
12	所沢市スポーツ推進委員会 会長	宮寺 敏雄	○	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	仲 志津江	○	
14	早稲田大学 教授	扇原 淳	欠	※副委員長
15	知識経験者	笹原 文男	○	
16	狭山保健所 所長	中島 守	○	
17	狭山保健所 副所長	澤登 智子	○	
18	埼玉西部消防局消防署統括監 兼所沢中央消防署長	江口 庸介	○	
19	市民医療センター長	藤塚 聡	○	

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	（開会）
事務局	<p>本日の委員会ですが、委員 19 名のうち出席者が 18 名で、過半数を超えておりますので、所沢市保健医療計画推進委員会条例第 6 条第 2 項の規定により、委員会が成立いたしましたことをご報告申し上げます。</p> <p>開会にあたりまして、京谷委員長よりあいさつをお願いいたします。</p>
委員長	（あいさつ）
事務局	（配布資料の確認）
委員長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>まず、「議題（1）保健医療計画の進行管理について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料 1 から資料 3 に基づき説明）</p> <p>【資料 1 概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 資料 1 は、前回、第 2 回の委員会でいただいた意見をまとめたものである。 ▶ 内容については、大きく「1 評価基準について」、「2 『今後の市の方向性』の評価について」、「3 その他」の 3 つに分けられる。 ▶ 「3 その他」は、「検診と健診」についていただいた意見の主な内容である。 <p>【資料 2 概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 資料 2 は、評価の流れや評価基準等について記載した資料である。 ▶ 前回までは点数化することを提案させていただいたが、評価が実体にあってない、正確な評価ができない、といった意見から内部で検討した結果、記号で示すこととした。 ▶ 評価の流れ及び総合評価について、図 1、2 を参照。 ▶ 推進委員会では、市が行った総合評価の結果を確認し、委員会としての評価を行う。 ▶ 目標指標の達成度の評価基準について、2 ページ（1）の基準表を参照。 ▶ 前回の意見を受けて、5 段階のうち最も上位の区分の判断基準を

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>「達成度120%以上」から「達成度100%以上」とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「今後の市の方向性」の取組状況の評価基準について、2ページ(2)の基準表を参照。 ▶ 「今後の市の方向性」については、計画期間中に取組状況がどのように変化したのかを確認するものとする。 ▶ 5区分から4区分に変更し、「◎」や「△」のように記号とした。 ▶ 個別の取組状況の割合から小項目全体の取組状況を求める。 ▶ 総合評価は、目標指標の達成度と「今後の市の方向性」の取組状況の組み合わせにより機械的に求める。委員会においては、裁量により総合評価の区分を変更できる。 <p>【資料3概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 資料3は、小項目単位で作成する評価シートの記載例である。例をもとに改めて評価の流れを確認。 ▶ 評価シートは、評価基準の変更に伴い、前回の委員会で提示したものから、一部修正を行った。 ▶ 事業担当課及び事務局にて取組実績や総合評価等を記載したものをこの委員会に提示。委員会では内容を確認する。 ▶ 委員会においては、取組内容等から判断して、裁量により総合評価の区分を変更することができる。 ▶ 「特記事項」の欄は、重点を置いて取り組んだ内容や新規の取り組み、市が行った評価の理由などを市が記載する。 ▶ 「委員会コメント欄」は、会議での発言をもとに、事務局で文案を記載するので、後日確認していただく。確認後、必要に応じて加筆、修正できる。
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>前回の委員会の意見を踏まえて、目標指標の達成度と「今後の市の方向性」の取組状況を組み合わせて総合評価を求めることはよいアイデアだと思います。ただ、資料2の3ページにあるように総合評価の区分が20も必要でしょうか。実際の評価として、「s」とか「a」となるものがあるかという、ないのではないかと思います。小項目の「今後の市の方向性」の取組状況が全て未実施「—」になることは、現状としてないと思います。この総合評価の区分で「s」や「a」など、「スモール」に該当する区分はなくしてしまい、15区分でいいのではないのでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>ありがとうございました。他にありますか。</p>
委員	<p>確認ですが、例えば、資料3の記載例では目標指標の28年度実績が2,750人で達成率が91.6%となり、達成度がAとなっています。例えば、27年度の実績が2,800人であった場合は、同じように達成度をAとするのでしょうか。考え方によっては、前年度に比べて実績が下がっているので、AではなくBではないかといった考え方もあると思います。その辺りの判断は、この委員会の裁量に委ねられていると考えていいのでしょうか。</p>
事務局	<p>そのようになります。</p>
委員	<p>目標指標の達成率について確認させてください。具体的に資料3の例で言いますと、平成31年度の目標3,000人に対し、平成28年度の実績が仮に2,750人、計画書によると平成26年度の実績は、2,694人となっています。そもそも3,000人に近い数字であるのに、果たして達成度が「A」でいいのでしょうか。</p> <p>それから、目標値が人数ではなく、パーセント表示のもの、例えば、第1章第1節の小項目（1）「乳幼児期」の「朝7時まで起きる3歳児の割合」は、現状値「62.9%」を31年度までに「68.0%」にしようというものです。このように、数値を5ポイント上げたい場合に、どのように達成度を見るかについては一つ考えておく必要があると思います。同じように、第4章第1節小項目（3）「健診事業」の「人間ドックで精密検査を指示された方の精密検査を受けた割合」についても、「30.8%」を「35.0%」に上げたいといった場合、達成度をどのように評価するか、予め考えておく必要があると思います。</p> <p>また、総合評価が「S」や「A」となり、それぞれの違いを聞かれたときに、「S」は「達成度が100%以上」、「A」は「100%」ということになると思いますが、相対的に見ると100%を達成していても一番上の区分ではないということになり、これは努力した人が報われないことになると思います。実際には一番上の区分が「A」であって、「A」を達成してそれ以上に努力した人は、単純に、「AO」が適当だと思います。目標が100%なので、達成すれば100だと思います。それ以上のものは分類がなく、「AO」なんだと思います。あまり細かく分けてしまうと、全体の達成度がぼやけてしまうような気がします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>総合評価をこの委員会の裁量で変更できることであれば、全体としては正しい評価ができると思います。</p> <p>この評価シートについては、単年度の実績に対して、達成したがどうかというものなっていますが、計画期間の最終年度に関しては、大もとの目標を達成したかになると思います。単年度の目標が達成していても最終的に大元に検討していたものが達成できていなかったということもあると思います。そういった意味では、総合評価そのものを委員会で検討させてもらうというのは必要なことだと思います。</p> <p>総合評価については、目標指標の達成度と「今後の市の方向性」の全体の取り組み状況の組み合わせにより、事務局で機械的に付けさせていただき、それらをこの委員会に提示させていただきます。その区分に対し、取組実績等から判断して、この委員会で変更することは可能です。その際には、「委員会コメント欄」に理由を付すような形になります。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問等がございますか。</p>
委員	<p>資料3について、「今後の市の方向性」の各項目に対して、それぞれ「取組状況」の「個別」欄に、取組実績に応じて記号が記載されており、「全体」の欄には「○」が記載されています。この「全体」の欄がなぜ「○」になるのか確認させてください。</p>
事務局	<p>「取組状況」の「全体」の欄については、基本的には「個別」欄に付けられた記号の割合から求めることとしています。例えば、個別の欄に「○」の割合が多い場合は、全体の欄は「○」となります。「取組状況」の「全体」に付けた記号の理由については、必要に応じて「特記事項」の欄に事務局が記載します。</p> <p>「今後の市の方向性」は項目数が異なり、評価については、まずは担当課の判断で評価していく形になります。「今後の市の方向性」の全体の評価を決めていくことについて、事務局で検討した結果、機械的に一番多い評価を記載させていただくこととしました。ただ、事務局で記載した評価について、意見を付して変更することができるとしています。</p> <p>第1段階として、組み合わせにより機械的に総合評価を求め、その次の段階としては、委員会の裁量により総合評価を変更できるものとして進めさせていただきたいと考えています。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>資料2の2ページの図2のように、最終的に推進委員会が評価する際は、資料3のような評価シートをもとに委員会として評価を行うのでしょうか。評価シートだけを見て評価するとなると、細かい点まで分からないので、判断するのは難しいと思います。</p>
事務局	<p>「今後の市の方向性」の「取組状況」については、前々年度と前年度の取組実績を比較して、記号を記載しています。記号だけではなく、評価シートに記載されている取組実績や、新規事業や重点事業等を記載する予定の「特記事項」欄も参考にさせていただき、委員会として判断していただければと思います。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問等がございますか。</p>
委員	<p>資料3の例では、目標指標の31年度目標が「3,000人」となっていますが、4年間で3,000人にするのか、毎年3,000人を目標としているのか、どちらなのでしょう。単年度ごとの目標に対して達成率を求めるのか、それとも、31年度の目標に対して達成率を求めるのか、確認させてください。</p>
事務局	<p>各目標指標の目標については、基本的には4年後の目標として設定しており、達成率は、31年度の目標に対するものを想定しています。ただ、今回、資料3の評価シートの具体例として用いた「認知症サポーター養成講座受講者数」については、資料中の「目標指標の説明」欄に記載がありますように、「毎年3,000人を目指す」という表記になっています。そのため、このケースについては、単年度の目標ということになります。</p> <p>他の目標指標についても改めて確認し、もし単年度の目標値の場合には、「目標指標の説明」欄等でわかるようにしたいと思います。</p>
委員	<p>資料3について、「今後の市の方向性」に「取組実績」がありますが、実績に至るプロセスが見えにくいと思います。例えば、「○」が「◎」になったとしたら、どういった経緯で「◎」になったのか、また、「△」や「—」が毎年続いた場合、その背景なり課題があると思います。「今後の市の方向性」に掲げられた項目の中には、大きなテーマであるものがあります。それらの項目に対して、「○」や「△」が妥当かと判断する上で、そのテーマに関するプロセスと課題の表記が不足していると思</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>います。ただ一方で、それらを追加するとなると、評価シートに項目数が増えてしまい、分かりにくくなる場合も考えられます。</p> <p>本来であれば「今後の市の方向性」についても、目標を掲げてその目標に対して評価するといった方法が分かりやすい形だったと思います。ただ、計画の策定段階では、「今後の市の方向性」についても進捗管理を行うこと想定していなかったため、取組実績の比較により進捗状況を確認していこうということで、資料で配布したような提案をさせていただきました。今回の進行管理の課題等につきましては、次期計画を策定する中で検討していきたいと考えています。</p> <p>「今後の市の方向性」の項目に関するプロセスや課題につきましては、「特記事項」の欄で補完できればと考えています。</p>
委員	<p>委員会が行う作業としては、事務局が作成した評価シートを見て、各委員が意見を言い、最終的に総合評価を判断するということだと思えます。確かにプロセスということも必要だと思えますが、提示された評価シートで判断するしかないと思えますが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>一つ一つの項目について、この委員会でプロセス等を見ていくのは難しいと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれましては、事務局から提示した評価シートをもとに判断していただきたいと考えています。その際、評価シートの「特記事項」欄には、評価する上で判断材料となる内容を、可能な限り記載させていただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>資料では「認知症」がテーマとなっていますが、この例示されている「認知症」の場合、市以外の他の団体等が行っている取り組みなどは評価の対象とならないのでしょうか。</p>
事務局	<p>評価シートにつきましては、市が実施している取り組みが対象となります。市以外の関係団体が行っている取り組みについての取り扱いや表記等については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
委員長	<p>評価対象となる小項目について、関係者でない人でも分かるように、例えば、「認知症」については市以外でも地域包括支援センターでも取り組みを行っているといったことなどがわかるよう、表記を工夫してい</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>ただきたいと思います。そうしていただくと、評価する側は、判断しやすくなると思います。</p> <p>総合評価について、確認させてください。いただいたご意見の中で、総合評価の区分の数についてのご意見がありましたが、具体的にどのような区分にしたらいいでしょうか。</p>
委員	<p>資料2によれば、「今後の市の方向性全体の取組状況」が「△」になった場合は、総合評価の区分は「S⁻」、同じく「—」となった場合は、「s」となります。そうではなくて、その総合評価の2区分を合わせて「S⁻」としたらいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>先ほどご意見にありましたプロセスに関することですが、できれば可能な範囲で、取組実績だけではなく、プロセスもわかるようにしていただけると、評価の判断材料の一つにもなると思いますので、検討をお願いします。</p>
委員	<p>この委員会では、評価するだけではなく、市の取り組みをさらによくしていこうという思いがありますので、実績の結果だけでなく、プロセスも必要だと思います。</p>
事務局	<p>もう一点確認ですが、資料2の2ページにある「目標指標の達成度」の区分について、先ほどご意見がありましたが、100%以上のものについては、その下の区分である「A」との比較もあるため、「A」以上ということで、例えば、「S」とはせず「AO」とした方がよいということでしょうか。</p>
委員	<p>私が一番言いたいことは、「100%を達成したら、達成である」というところを正当に評価したいということです。資料にある「S」というのは、100%以上を評価するという意図だと思いますので、「A」に「O」を付加するという意味で、「AO」の方がいいのではないかと思います。100%を達成していれば「A」、100%を超え期待以上</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>達成したのであれば「AO」というようにすれば、外部から見たときに、両区分については、目標は達成していることが伝わると思います。もし、100%を超えた達成を「S」とした場合、100%を達成して「A」になったとしても上から2番目の区分、つまり、一番上ではないということになってしまいます。これでは、実務担当者のモチベーションにも影響が出ると思い、先ほど発言させていただきました。</p> <p>ありがとうございました。それでは、目標指標の達成度については、「S」ではなく「AO」に変更したいと思います。</p> <p>また、総合評価の区分についても、「S⁻」と「s」を統合し「S⁻」というように、区分の数を見直したいと思います。</p>
委員長	<p>他にご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>意見等がないようであれば、計画の進行管理と評価シート（案）について、一部修正する部分がありましたが、概ね了承いただけるということでしょうか。</p>
委員	<p>（全員了承）</p>
委員長	<p>ありがとうございました。では、事務局におかれましては、了承をいただけたということで事務を進めてください。</p> <p>それでは、次の議題に移ります。「（2）その他」について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>（参考資料1、参考資料2に基づき、また鳩山町の取り組みについて口頭にて、それぞれ説明）</p> <p>【参考資料1概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 参考資料1は計画開始前である平成27年度における「今後の市の方向性」の取組状況について一覧にまとめたものである。 ▶ 計画期間開始前の状態を確認するために今回の会議で示している。 ▶ 平成28年度の実績が出された際に27年度と比較を行い、「今後の市の方向性」がどのように変化したかを比べる基準となるものである。 ▶ 今回の会議で内容の検討を行うのではなく、参考資料として示している。 ▶ 取組状況の中で空欄になっている項目は、未実施、又は、該当する課が複数あり調整中のものである。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>【参考資料２概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 現在、市では「トコロん健幸マイレージ事業」を実施し、市民の健康づくりに取り組んでいる。今回は「運動と健康」をテーマに、参考資料２に記載してある内容について委員の皆様からご意見をいただきたい。 ▶ 健康増進・健康づくりに関する取り組みとして、国では「健康日本２１（第二次）」を基に施策を進めている。 ▶ 埼玉県においても国の「健康日本２１」を受けて策定した「健康埼玉２１」を基本方針として、「埼玉県健康長寿計画」を策定し施策を進めている。 ▶ 現在、埼玉県では健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指す「健康長寿埼玉プロジェクト」を推進している。 ▶ 所沢市においては平成２８年３月に「所沢市保健医療計画」を策定し「健幸長寿のマチ所沢」の実現を基本理念として、取り組みを実施している。 ▶ 特に健康づくりに取り組むための事業として平成２８年９月から「トコロん健幸マイレージ事業」を実施している。 <p>【鳩山町の健康寿命延伸に関する取り組みについて口頭説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成２９年１月１日現在の６５歳以上の人口割合は、鳩山町については約３９．７％、所沢市は約２５．４％である。 ▶ 健康寿命を伸ばす取り組みとして、平成１８年度から「地域健康教室」を実施している。 ▶ 実施にあたってはボランティア組織である「鳩山町健康づくりサポーターの会」が町と協働して各種運動教室を実施している。本市においても「スポーツ推進委員会」が組織され、市内の行政区ごとにスポーツ推進委員による活動が行われている。 ▶ 平成２７年度からは「健康長寿埼玉モデル」の参加自治体として、「はとやま毎日１万歩運動」を実施している。本市においても平成２８年度から「トコロん健幸マイレージ事業」として参加している。 ▶ 鳩山町では「健康づくりサポーターの会」との協働、ウォーキングや体操等、高齢者の運動に着目し、高齢者のフレイル予防に取り組んでおり、健康寿命の延伸に関係していると考えられる。 <p>ただいま事務局から説明がありましたが、特に参考資料２「運動と健康」について、委員の皆様から意見をいただきたいとのことでしたが、委員の皆様いかがでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>先ほど事務局からも説明がありましたが、所沢市には「スポーツ推進委員会」という組織があり、自主事業に加え、市長が会長を務める「所沢市体力づくり市民会議」という組織の行事を所管している団体です。</p> <p>スポーツ推進委員は現在110名おり、市民の方に対し様々な行事を行っています。説明にありました「運動と健康」をテーマについて、これまでスポーツ推進委員会で議論をしたことがないのが現状です。理由としては、スポーツ推進委員の活動内容はグラウンドゴルフやソフトボール等の大会の開催など、どちらかと言えば競技性が高いものであるからだと考えています。</p> <p>幅広く市民の方に対して、運動することについて取り組んでもらうことは大変難しいと思います。例えば、毎年11月ごろに実施している「トコロんウォーク」には約300名が参加しています。一方、市と西武鉄道が主催して行っている「みどりのふれあいウォーク」は、コース自体は「トコロんウォーク」とあまり違いはないのですが、参加賞が出ることもあり3,000人近い参加者がいます。</p> <p>市として市民の方に向けて何か取り組みを行おうとする場合、歩くことももちろん大切ですが、私の考えですが、市民に向けて「体力測定」を行ってみるのはいかがでしょうか。体力測定には一般向けと65歳以上の高齢者向けのものがあり、スポーツ推進委員が測定を行いますので、測定に加えて例えば、健康や医療についての座学など、学べる場を設けることができれば関心が広がっていくのかなと思います。今後、スポーツ推進委員に対しても「健康と運動」についてアピールしたいと思います。</p>
委員長	<p>ただいまのご意見で座学についてありましたが、十分な効果を出すためには、スポーツに加えて、食育を組み合わせることも必要だと思います。参考資料にありました中之条で取り組んでいることも、運動だけではなく、例えば、歩いた後は必ず牛乳を飲むなどタンパク質を取りましようといったことも行っていたと思います。それが効果を上げていたと思いますので、医師会としても考えたいと思います。</p> <p>事務局の方はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「健幸長寿のマチ所沢」の実現のためには市民の皆様健康づくりに取り組んでいただくことが重要であると考えており、今回委員の皆様からご意見をいただき、市民の体力向上や健康を支えることに結び付けていきたいと考えておりました。保健センターには栄養士もおりますの</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>で、食育についても連携して取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>運動や健康を話題にすると、どうしても介護予防など高齢者の方になってしまう思ひます。運動は若い時から習慣付けることが大切だと思ひますので、若い世代の方からご意見をいただければと思ひます。</p>
委員	<p>自分から運動しようと思ひて、それを継続して行える人はなかなかないと思ひます。「ところん健幸マイレージ事業」や先ほど委員の意見にあった「ところんウォーク」などの企画があれば、参加しやすくなるのかなと思ひます。「ところん健幸マイレージ事業」の実施効果はもう出ているのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、事業開始から5か月が経過したところであり、期間が短いこともあり、成果についてはまだ確認できておりません。また、1,000名の定員ですが、約98%の方が現在も継続して取り組んでいただいておりますので、事業の目標の一つである、継続して取り組んでいただくという点については、ある程度達成できていると考えております。また、事業開始時と半年経過した際には早稲田大学の先生に協力をいただきアンケートを行っておりますので、今後分析が進んでいけば、ある程度事業の評価ができるものと考えております。</p>
委員長	<p>効果を測るには、1年程度の期間を見た方がよいと思ひます。以前、ふじみ野市の医師会に行った際に、ふじみ野市では、1年間歩いて、ふじみ野産の野菜をたくさん食べましょうという運動をしているのですが、1年間で1人当たり数千円の医療費が節減できたという話を聞いてきました。「ところん健幸マイレージ事業」は始まったばかりですので、1年程度経過すれば何らかの効果が出るかと思ひます。</p> <p>運動はやはり子どもの頃から取り組んでほしいと思ひています。何らかのインセンティブが与えられないと続かないことですので、その辺を市に考えていただければと思ひます。</p>
委員	<p>参考資料2に「歩くこと、運動することについて、一人でも多くの人を取り込むためにどのような取り組みが必要か」とありますが、健康になるために歩きましょうなどと言ってもなかなか難しいのが現状です。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>ただ、例えば今の自分の体力が1年間歩いたらどう変化したかが数値でわかれば励みになると思います。先ほどご意見がありました体力測定のようなことを実施して、例えば、自分の実年齢より測定結果で出された体力年齢が上だった方が、運動をすることで改善されたことが目に見えるとすごくやる気が出ると思いますので、そういったことを取り入れてみてはいかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>例えば、グラウンドゴルフなど、普段から運動をされている方はシニア世代の方が中心ですので、20代から50代の世代を運動に取り組んでいくことが一番課題として大きいと思います。ウォークラリーなどを行う時に、例えばオリエンテーリングやスタンプラリーといったことを組み合わせて、親子でも参加できる形を考えることも大事だと思います。</p>
委員	<p>ただいまのご意見について、スポーツ推進委員会では毎年1回、市民体育館で親子を対象とした運動教室を開催しています。今年度はラケットテニスを実施しましたが、運動教室の参加者は年々増えており、すぐに定員に達してしまいます。</p> <p>また、グラウンドゴルフ大会も開催していますが、参加者の9割は、60歳以上の方です。若い世代を取り込むためにも、親子で参加できることは良いことだと思いますので、今後も市を通じてですが、継続していければと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>参考資料2に「歩くこと、運動することについて、一人でも多くの人を取り込むためにどのような取り組みが必要か」とありますが、そのためには定員を設けないことが一番だと思います。</p> <p>具体的に何をするかというと、例えば20代から50代の方はほとんど携帯電話を所有していると思いますので、アプリケーションを使用してポイントが貯まるような仕組みや、行政が民間企業と連携することが重要だと思います。また、ポイントの交換も必ずしも現物に限らなくても良いと思います。</p> <p>多くの人に関心をもってもらうためには、母子愛育会や食生活改善推</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>進員協議会、スポーツ推進委員会の方の出番だと思います。関心をもってもらえることは文化であり教育であり、小さいころから教育してそれが文化になっていくと根付いていくと思います。例えば、実際に健康寿命が長い都道府県を調べていくと、運動する習慣があるところです。結果的にみれば、スポーツ推進委員が大活躍されている都道府県は健康寿命が長いと言えらると思います。文化を根付かせるということが関心を高めるための一つの方法だと思いますので、そうした団体の方の出番であり、活動を広げることで、結果として健康寿命が延びるのは良いことだと思います。そうした点では、先ほどのアプリのようにICTを活用して、例えばイベントに参加すればポイントが貯まりますというようにすれば、参加が期待できるのではと思います。</p> <p>体力づくり市民会議のイベントに救護として参加しています。そこで感じることは、スポーツ推進委員の方が一生懸命働かれているのですが、参加者が増えていないと思いますので、もう少し広報活動を大々的に行った方が良くと思います。</p> <p>また、飯能市で開催している「飯能ツーデーマーチ」は非常に参加者が多いと聞きますが、所沢市でも何かできないのかなと思います。</p> <p>先ほどお話のありました体力測定ですが、市の健康まつりと同時開催というのはどうでしょうか。</p>
委員	<p>こうした活動は時々市の広報誌で見かけますが、見逃していることがあります。地域には自治会がありますので、自治会に対して広報すれば自治会が活動を始められると思います。自治会から地域住民へ呼びかけることはありますので、個人に対して呼びかけるより効率が良いのではと思います。</p> <p>先ほど他の委員からのご意見でありましたアプリケーションを開発するのは、万歩計などのハードウェアを支給するよりも費用的に安く済み継続的に使用することができると思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>健康体操というと高齢者が対象のイメージがあると思いますので、その視点からお話しすると、広報活動が大切だという意見がありました。現在実施している事業を市民の方へお知らせしていくことは大事だと感じています。例えば、年齢を問わずということだと、親子を対象と</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>した運動遊びを市でも実施していますし、民間ですと、地域のリハビリを専門としたデイサービスの事業所が年齢を問わずに健康体操教室を実施していたり、また、整形外科のある病院でも体操教室を実施していたりと様々な場所で色々な取り組みを実施しています。ただ、現在はそれぞれ個々に情報を発信しているので、今後は健康や体操といったキーワードで一括りにして周知していくことも大切だと考えています。</p> <p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>健康まつりでは、子どもたちが色々な道具を使って遊びながら体力測定を行っています。その中に大人を対象にした体力測定を入れることができたと思います。また、今年の健康まつりでは、来場すると「ところん健幸マイレージ事業」のポイントが付くため、来場者がかなり増えました。今回のマイレージ事業の申込方法が難しかったという声がありましたので、もう少しわかりやすい申込方法にしていただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。もう少し簡単な申込方法があればいいと思います。他にございますか。</p>
委員	<p>私は仕事の関係で救急医療の医師の方と話をする機会があるのですが、やはり健康でいることが一番大事だということです。人口減少や高齢化、それに伴う医療費の増加等、できる限り健康寿命を延ばして医療や介護を受給する期間を短くするような意識付けが大切だと思います。</p> <p>現場の話をする、インフルエンザが流行していますが、インフルエンザの患者さんを救急搬送して受け入れないケースがあります。皆さんが事前に予防接種を受けるなど健康について意識する世の中になればと思います。</p>
委員長	<p>委員の皆様、多くのご意見ありがとうございました。</p> <p>そろそろ終了の時間も迫ってきましたので、この辺で終わりにしたいと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様ありがとうございました。本日いただきましたご意見を基に今後の市の取り組みの参考にさせていただきたいと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>以上で本日の議事はすべて終了いたしました。</p> <p>全体を通して何かありますでしょうか。ないようでしたら事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>今年度の保健医療計画推進委員会は本日が最後となります。次回の会議開催は7月を予定しております。</p> <p>以上を持ちまして、第3回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会といたします。長時間にわたり誠にありがとうございました。</p> <p>（閉会）</p>